

【2024 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

14	フィードバックを得て、選択パラグラフを完成する。	講義	よく構成された段落の例を示す配布資料を確認する。	1				
15	過去の問題に関するフィードバックを受け取り、避けるべき一般的な書き間違いについて学ぶ。	講義	教師からのパーソナライズされたフィードバックを確認し、試験エッセイについて考え、概要を作り始める。	1				
試								
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		40	60	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	22	40	0	0	0	62	
	思考・推論・創造する力	3	0	0	0	0	3	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	6	5	0	0	0	11	
	取組みの姿勢・意欲	9	15	0	0	0	24	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法			
試験	①	✓	試験：トピックを選択し、英語で少なくとも 3 つの段落で構成される短いエッセイを書く。評価：構造、正しい文法、トピックに適した内容、および正しい形式で書かれているかどうかを評価する。 加点ポイント：全体の長さと言彙の選択(40%)			パラグラフの評価と添削		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①	✓	レポート：8 つの課題が与えられる。(文レベルのものからパラグラフまで) 評価：授業で学ぶ文法項目や、ライティングの要素と構成を正確に使えているかを評価する。 加点ポイント：馴染みのない単語やフレーズを使用する試み、課されたテーマ以上の努力。(課題全部で科目評価の 60% になる。)			8つのレポートを評価、添削		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	18年間日本で英語を教授しており、9年間は本学で英語教育に携わっている。							
実践的授業の内容	学術論文を書くときは、日本語であっても世界中の誰もが検索できるように、アブストラクト(要約)を英語で書くことをお勧めする。アブストラクトを英語で書くためには、書く英語の構造の基礎知識が不可欠である。							
そ の 他	この科目は、学生が実用英検2級か準1級以上の英語の語彙と文法の実用的な知識を持っていることを前提としている。これより低い習熟度の学生は、授業が難しいと感じる可能性がある。シラバスに沿って授業は行われるが、学生のレベルに対応するため内容や時間等を変更する場合がある。							